

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	都市型ホテル (支配人)	単価の動き	・全国旅行支援の効果で単価が上がっている。また、ビジネス客も戻ってきている。
	○	スーパー（総務 担当）	来客数の動き	・値上げ等が続き、景気は下向くかと思われたが、来客数は増加しており、景気は上向いている。
	○	家電量販店（営 業担当）	来客数の動き	・来客数は前年比103%で増加しているものの、客単価は98%と前年割れで終了している。消耗品の動きが107%と改善したことが良かった点である。
	○	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・クリスマスや年末商戦の影響か、当地域の大規模小売店への来客数も多く、にぎわいをみせている。ただし、小規模な店は個性的なところ以外は厳しい。
	○	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・車両遅延も解消され始め、登録できる車両が出てきて販売台数を確保できるようになってきている。
	○	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症での行動制限があった時期と、解除された時期を比べると、数段の差がある。解除以降、来客数の動きが極端に良くなっている。
	○	自動車備品販売 店（経営者）	販売量の動き	・やや販売量が増えている。人の動きや交通量等が若干多くなったことが販売量にも結び付いたと思われる。
	○	その他専門店 (総務担当)	販売量の動き	・売上が増加しており、やや良くなっている。
	○	一般レストラン [居酒屋]（経 営者）	お客様の様子	・例年同時期と比較して、団体客はいまだ少なく、予約の入り方も遅い。しかし、少人数客の来店は、県外も含めて多くなってきている。明るい笑顔や会話も多くなり、店内も活気がある。このままの状況がしばらく続くのではないかと。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増えているが、久しぶりの行動制限のない年末で、動きが出ている。
	○	一般レストラン [居酒屋]（経 営者）	来客数の動き	・繁忙期なので、宴会や個人客共に、動きは十分ある。
	○	その他飲食 [ファースト フード]（経 営者）	単価の動き	・12月ということもあり、当店のような中食販売業界では、帰省してくる家族も多いことから、1家族への販売個数がかかなり良くなっている。
	○	都市型ホテル (支配人)	単価の動き	・全国旅行支援の影響で、宿泊部門に関しては稼働率、単価共に高水準で推移している。また、料飲部門も数年ぶりの忘年会等のためか、高単価の受注が多い。
	○	旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・教育団体、法人、自治会等からの依頼件数が増えている。
	○	タクシー（経 営者）	お客様の様子	・11月に続いて12月も全体的に動きが良く、前年同月と比べて10%の増収である。
	○	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・全国旅行支援の影響で、来園者は増加傾向にある。
	○	ゴルフ練習場 (経営者)	販売量の動き	・商材の動きはあるものの、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えていることが心配である。
	□	商店街（代表 者）	来客数の動き	・諸物価値上がりの影響か、最近は買い控えがみられる。全国旅行支援で旅行してきた話が出るものの、商店への影響は全くない。年末なのに街中に人の動きが少なく、店の閉店時間を早めてきている。
	□	一般小売店[青 果]（店長）	来客数の動き	・例年、干し芋や干し柿等の高額商材の贈答品が結構あるが、今年はかなり減っている。
	□	百貨店（店長）	販売量の動き	・売上は前年同月比で100%を若干下回る状況で推移している。新型コロナウイルス感染症発生前の2019年との比較では5%弱下回っており、景気の回復が弱いと言わざるを得ない。
□	スーパー（商品 部担当）	単価の動き	・来客数に対し売上は5%アップとなっているが、値上げによる影響が大きく、販売点数の伸びはない。年末年始も同様の傾向になるとと思われる。	
□	コンビニ（経 営者）	お客様の様子	・今月は降雪が少し遅かったためにスキー場開きが大きく遅れた分、スキー客が減っている。	

□	コンビニ（経営者）	それ以外	・前年比で、売上100.3%、来客数98.3%、客単価102%となっており、ほぼ前年並みである。来客数の微減を単価で補っているのは、ここ数か月の傾向と一緒である。値上げに対する客のあきらめという慣れが見られる。
□	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・一時と比べると、全国旅行支援も大分落ち着いてきたが、宿泊は変わらず好調に推移している。しかし、新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加したこともあり、正直なところキャンセルも増えている。
□	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・全国旅行支援が年末まで延長した効果もあり、大きな動きではないものの、地道に来訪客がある。
□	通信会社（社員）	単価の動き	・販売単価上昇は身近に感じるが、企業努力のお陰で、売価が下がっている商材や製品もあるので、総合的に考えて、変わらない。
□	通信会社（営業担当）	単価の動き	・物価の上昇が止まらず、年明けの各種品目で20%前後の値上げが報道でも盛んに取り上げられており、現状維持の傾向が続く。
□	競輪場（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数も増加傾向にあり、来場者数については若干減っているように感じるものの、朝晩の寒さが増して出足が鈍いこともあるので、大きな変化はない。
□	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築業界でも建築資材の価格高騰が断続的に続いている。先々収まる様子もなく、建築計画が滞っている。
□	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・土地処分の客は多いが、購入希望の客は少ない。
▲	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・前月と同様、今月も新型コロナウイルスの新規感染者数が増加している。客は感染拡大を懸念して外出を控えていて、スーパーでも来客数は余りみられず、売出しをしてもぱっとしない。各地で発行しているプレミアム付商品券も、効果は余りないようである。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前は前年の売上を超えていたが、今月は前年比7割程度の売上となっている。全国旅行支援の恩恵も一段落した様子である。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・当県では、新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最高の水準で推移しており、行動制限がない年末とはいえ、来客数を低下させる主要因となっている。また、エネルギー価格を始めとした物価高も、客の消費行動をより慎重にさせている。
▲	百貨店（営業担当）	単価の動き	・物価上昇等のあおりを受けて、生活防衛の意識が高まっており、客単価が落ちてきている。
▲	百貨店（店長）	来客数の動き	・11月中旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大と連動して店舗への来客数が減少している。その後、12月中旬まで来客数の減少傾向が継続し、前年を5%程度下回っているため、やや悪くなっている。
▲	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今月は年金支給月だったが、新型コロナウイルスの新規感染者数がかかなり増えているので、客が自己防衛に走って本当に街に出ない。このままずるずるいつてしまうのかと思うと、未恐ろしい雰囲気である。これからどうしたら良いのか本当に不安な日々を送っている。
▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・耐久消費財の主要商材が前年を割り、全体的に客の需要が冷え込んで、前年比93%で着地している。
▲	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・メーカー各社の値上げがあり、来客数、客単価の低下が継続している。
▲	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・12月に入って寒波が到来し、冬物がやっと動き出したが、売上の状況は好転しない。節約志向が顕著でディスカウントには反応があるものの、それ以外の購買については慎重さが増している。特に、買上点数の低下が顕著に表れている。
▲	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・このところ、新型コロナウイルス感染症の集団発生が多くなってきている。特に、高齢者や子供が感染して、働き盛りの40代に影響が出ている。数字に出ている以上の人が感染しているようで、客の出足が相当鈍くなっている。

	▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・秋の行楽シーズンが終わり、寒さが厳しくなった上に様々な物が値上がりした影響が、じわじわと出てきている。外食を控える時期に入ったような感じを受けている。
	▲	その他飲食 [給食・レストラン] (総務)	単価の動き	・求人難や最低賃金改定等に伴う人件費の上昇、食材単価アップに伴う食材費の上昇等が通月の計数に反映された結果、月間の収支も前年と比べて悪化している。業務改善の努力だけではカバーすることができず、取引条件や不採算先の見直し等、抜本的な対策が必要となってきている。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・12月に入り、忘年会等で忙しくなるかと思いきや、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えだしたため、週末は多少動きはあったものの、平日はふだんと変わらず、人通りはなく、クリスマスイブも静かであった。
	▲	通信会社 (総務担当)	販売量の動き	・例年なら12月商戦は、10～11月より1.2から1.5倍となるが、今年は0.85から0.9倍程度の着地見込みである。
	▲	通信会社 (局長)	お客様の様子	・価格高騰の影響が出ていることや、社内で新型コロナウイルス新規感染者が増加していることからである。
	▲	ゴルフ場 (従業員)	それ以外	・費用の高騰から、やや悪くなっている。
	▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・増税する前にまずは身を切る改革だと思う。現状の国会議員定数を削減し、歳出を抑えることが先だと国民誰もが思っている。それゆえ、内閣支持率が低いのである。
	▲	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	それ以外	・原材料の高騰分を価額転嫁できない。社員の給与を上げたくても財源がない。
	▲	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・今月は客の引き合いが非常に少ない上に、成約には至らない。どうしたことか、やや沈滞ムードで、街の動きもいまだに悪い。特に、飲食店やスナック関係は、閑古鳥が鳴いている。新型コロナウイルス感染症の影響だとして、閉店する店舗が増えてきている。
	▲	その他住宅 [住宅管理・リフォーム] (営業)	お客様の様子	・民間からの修繕やリフォーム依頼に止まった感がある。通常なら年末から年度末にかけて中小規模の依頼があるが、営業をかけても保留されることが目立っている。
	×	一般小売店 [家電] (経営者)	来客数の動き	・必要最低限の物しか買わない傾向が出てきている。どうしても必要な物以外は節約するというのが現状である。
	×	乗用車販売店 (経営者)	それ以外	・自動車販売業だが、メーカーからの仕入れや納期がままならないため、悪くなっている。
	×	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・コロナ不況で大打撃を受けているホテルである。レストランは昼夜営業しているが、夜は新型コロナウイルス感染症の発生前の50%以下、婚礼は皆無、宴会は10%となっている。第7波や第8波、新規感染者数が増えている等、マスクが連日必要以上にセンセーショナルに騒ぎ立てるので、世の中の人々は外出や飲食を自粛してしまっている。また、おおむね20人以上の大人数の会合は中止となり、もはや打開策はない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品 製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今は値上げラッシュだが、当社の扱う商材は安定して出ている。
	○	一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・コロナ禍で混乱していたサプライチェーンの影響も落ち着き始め、当初の計画どおりの生産に戻りつつある。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・4か月連続で、毎月売上が10%近く伸びている。2年前の売上と比べて3割アップ、前年と比べても1割アップとなっている。これが2～3か月続いている。おそらく季節的な要因で1月からは売上は落ちるが、それを除いても今のところ、上昇気流かなという気がしている。

	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気は良いとは言えないものの、ボーナスやインフレ手当の支給がされたことは良かったのではないかと。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この2～3か月、取引先の様子や受注量の動き等は、上がったりがったりを繰り返して、全く予測がつかない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・12月に入って寒くなってきたので、暖房器具、石油ファンヒーター、電気ヒーター、加湿器等や初売り家電等も前年並みの物量を確保している。しかし、輸送コストの燃料高や協力会社の車両運賃が高くなり、利益的には薄くなっている。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦の広告出稿は、前年比30%程度のプラスで、いまだに厳しい状況である。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・ウクライナ侵略戦争が一進一退しているなかで、原料や燃料等の値上がりは一旦落ち着きを見せたものの、コロナ禍がまたもや首をもたげてきており、地域の企業活動や個人消費は、冷や水を浴びた感がある。ただし、一部に消費を増やし、わずかながら人流が戻る傾向がうかがえることが救いである。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・原材料費や各種経費が増加し、経営は大変だが、ボーナスは前年並みか多少増加しているようである。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・商談状況からも、特段変化は見られない。ただし、商談件数、金額共に、着実に増加している。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・増税を先に言ってしまう政府の考えが理解できないと思う庶民は多い。新型コロナウイルス感染症対策で増税と言わなかったのに、防衛費対策で増税という政府や行政機関の感覚が、全く理解できない。こんな状況で、中小企業に人件費を増やせという政治家の姿勢も全く理解できない。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・当社は多品種少量生産で取引先が50社ほどあるなかで、今月は約半数の会社からしか受注がない。通常は30社以上から何らかの受注があるので、微妙な減少が続いている。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今月予定していた業務が、取引先の新型コロナウイルス感染症り患の影響で、来月以降に延期となっている。前月以前に感染を理由に延期になった分は今月に実施できたが、取引の見直しにより継続できなかった業務もあり、その分、売上や利益が減少している。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、現政権まで、公共工事は順調に推移している。防衛費の問題は我が国にとってマイナスと感じている。今期の公共工事発注は前年比8%減で、前々年比では21%減と、厳しい。当社受注も前年比10%減であり、赤字決算にならないか心配である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・大手スーパー等、小売販売については、人の動きも随分動きが多くみられている。また、食品関係は豊富に出回り、商材が整っていたようである。住宅関連は新築物件に大分動きがあり、外装関係や屋根等の工事等も目立っている。製造業は、部品の調達、ガソリンや灯油等価格の一部で落ち着きは見せているようだが、動きがよんでいるような状態である。寒さもかなり厳しいことから、衣料品は伸びている。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・取引企業の様子をみて、やや良くなっていると感じている。
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣の依頼数は3年前と同水準まで回復しているが、供給できる人材が圧倒的に不足している状況が続いている。
	□	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・派遣の採用数を集計したところ、3か月前とほぼ同数のため、変わらない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べて、新規求人数は、建設、卸売、医療、福祉で減少がみられ、全数では4.4%の減少となっている。ただし、前年同月比では13.2%増加し、14か月連続で前年を上回り、持ち直しの動きが広がりつつある。

	▲	*	*	*
×	*	*	*	